

平成25年10月31日発行

No.33



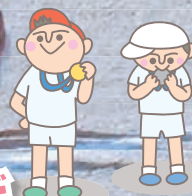
ほこた市

議会だより



平成25年9月定例会

平成25年第2回臨時会	P2
提出議案と審議結果	P2~3
平成25年第3回定例会	P3~5
主な討論	P6
討論一覧／各議員の賛否／欠席者	P7
ここが聞きたい! 一般質問	P8~12
主な議会の動静	P13
委員会活動報告	P14
請願審査報告	P15
傍聴者の声	12月定例会の予定 P16



バトンをつなげ
パワー全開旭っ子!!

~旭幼稚園運動会~

平成25年第2回臨時会

〈本会議〉
7月26日

主な質疑

議案第1号

平成25年度鉾田市
一般会計補正予算
(第2号)

問

徴税費の過誤納
金還付金578万7、
000円の補正ですが、
今回不足が生じることに
ついて説明願います。

答

主たる要因として
は、オハヨー乳業
の大規模な設備投資を受
けて、法人市民税の予定
申告納付額に還付が生じ
ることによるものです。

問

瓦れき処分につい
て、どのように判
断して、受け入れてい
くのかお尋ねします。

答

今回の再開に伴い、
申し出を受けた場
合に、瓦れきの状況を現
場で確認しながら、必要
な台数を認定していると
いう状況です。

答

鈴縫・酒井・吉川
特定建設工事共同

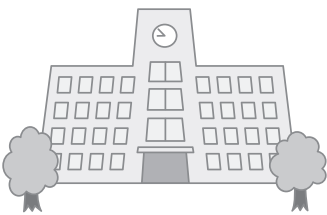
応じた4業者の名称につ
いて、お知らせください。
企業体、昭和・藤井・三
芳特定建設工事共同企業
体、大貫・ミドリヤ・飯
塚特定建設工事共同企業
体、常総・朝日・中央特
定建設工事共同企業体の
4社です。

工事請負契約の締結
について

議案第2号

問

鉾田北中学校校舎
改築工事の入札に



提出議案と審議結果

◎ 全員賛成
● 賛成多数
● 賛成少数
△ 継続審査

平成25年第2回鉾田市議会臨時会

平成25年度補正予算

● 鉾田市一般会計補正予算(第2号)

契約

◎ 工事請負契約の締結について

平成25年第3回鉾田市議会定例会

平成24年度決算認定

- 鉾田市一般会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市旭区域水道事業会計収入支出決算認定
- 鉾田市鉾田区域水道事業会計収入支出決算認定
- 鉾田市大洋区域水道事業会計収入支出決算認定

条例・規則の一部改正等

◎ 鉾田市子育て支援基金条例

平成25年第3回定例会

〈本会議〉
9月6日～24日

主な質疑

議案第10号

鉾田市子育て支援基金条例

問 中学生まで医療費の無料化を実施するという趣旨で基金条例をつくり、今年の12月に関係する条例を議会に提案したいということです。が、来年度実施を考えているのか。

答 既に経済的な負担軽減として小学生の医療費無料化を実施しています。その医療費の範囲を拡充していき

いので、12月に条例の一部改正（案）を提案させていただきます。新年度から対応したいと思っています。

議案第11号

平成25年度鉾田市一般会計補正予算（第3号）

問 文化財啓発事業で、指定文化財の保存補助金が出ておりますが、どのようなところに出すのかお尋ねいたします。

東日本大震災で災害を受けた国指定重要文化財、福泉寺収蔵庫を修理するための補助金です。

答

東日本大震災で災害を受けた国指定重要文化財、福泉寺収蔵庫を修理するための補助金です。



平成25年度補正予算

- 鉾田市一般会計補正予算（第3号）
- 鉾田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 鉾田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 鉾田市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 鉾田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
- 鉾田市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 鉾田市水道事業会計補正予算（第2号）
- 鉾田市一般会計補正予算（第4号）

人事

- 鉾田市政治倫理審査会委員の任命について（汲上 飯島 仁）
- 鉾田市政治倫理審査会委員の任命について（札 額賀 元康）
- 鉾田市政治倫理審査会委員の任命について（田崎 柳橋 政義）
- 鉾田市政治倫理審査会委員の任命について（鉾田 沼田 妙佳）
- 鉾田市政治倫理審査会委員の任命について（水戸市 菊池 正憲）
- 人権擁護委員の推薦について（汲上 立木 治）
- 人権擁護委員の推薦について（勝下 出村 正雄）

請願

- 国益に反するTPPに参加しないことを求める請願
- 教育予算の拡充を求める請願

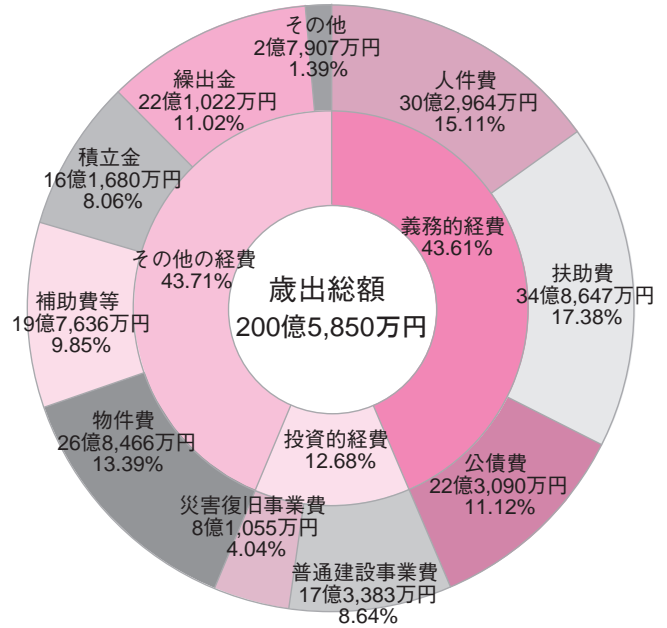
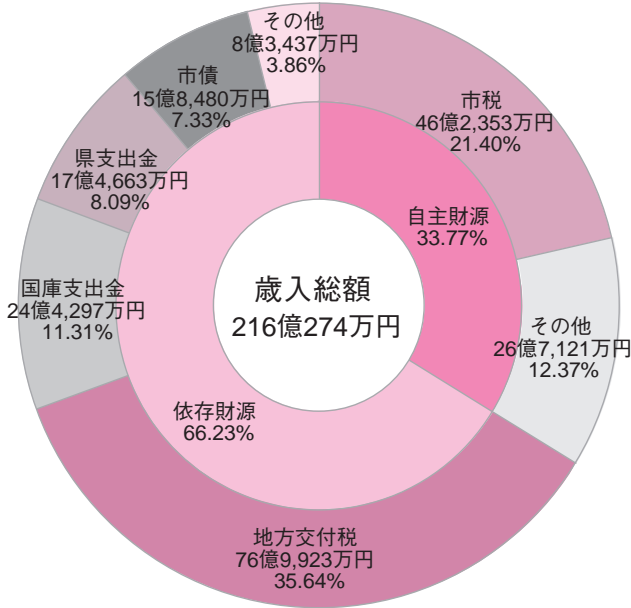
議員提出議案

- 国益に反するTPPに参加しないことを求める意見書の提出について
- 教育予算の拡充を求める意見書の提出について

平成 24 年度決算を認定

～一般会計で支出した総額は約 200 億円～

一般会計歳入歳出決算の内訳



自主財源とは：市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入など、市が自主的に調達できる財源です。

依存財源とは：地方交付税など、国や県により定められた額が交付されたり、割り当てられたりする収入で、市独自で定めることができないものです。

義務的経費とは：職員の給与等の人件費、生活保護費等の扶助費など、その支出が義務付けられていて、任意に削減することが難しい経費です。

投資的経費とは：道路や学校の建設など、社会資本の整備に要するものであり、支出の効果が長期にわたる経費です。

《各会計の決算状況》

会計名		歳入 (収入)	歳出 (支出)	差引	
一般会計		216 億 274 万円	200 億 5,850 万円	15 億 4,424 万円	
特別会計	国民健康保険	81 億 7,663 万円	78 億 4,651 万円	3 億 3,012 万円	
	後期高齢者医療	4 億 1,450 万円	4 億 1,205 万円	245 万円	
	介護保険	保険事業勘定	37 億 4,204 万円	36 億 1,956 万円	1 億 2,248 万円
		介護サービス事業勘定	1,107 万円	1,014 万円	93 万円
	農業集落排水事業	8 億 4,598 万円	8 億 2,977 万円	1,621 万円	
	公共下水道事業	7 億 5,221 万円	6 億 6,602 万円	8,619 万円	
	小計	139 億 4,243 万円	133 億 8,405 万円	5 億 5,838 万円	
公営企業会計	旭	収益的収支	2 億 2,030 万円	2 億 1,896 万円	134 万円
		資本的収支	357 万円	1 億 1,818 万円	△ 1 億 1,461 万円
	鉾田	収益的収支	6 億 1,730 万円	6 億 309 万円	1,421 万円
		資本的収支	2 億 9,166 万円	5 億 6,997 万円	△ 2 億 7,831 万円
	大洋	収益的収支	2 億 5,907 万円	2 億 5,899 万円	8 万円
		資本的収支	0 円	1 億 1,331 万円	△ 1 億 1,331 万円
小計	13 億 9,190 万円	18 億 8,250 万円	△ 4 億 9,060 万円		
合計		369 億 3,707 万円	353 億 2,505 万円	16 億 1,202 万円	

※公営企業会計における資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度損益勘定留保資金で補てんしました。

主な質疑

議案第1号

平成24年度銚田市一般会計歳入歳出決算認定について

問 延長保育事業、地域子育て支援拠点事業の成果についてお尋ねします。

答 延長保育事業は、保護者の就労形態の多様化に伴い延長保育の需要に応えるため実施している私立保育園7園に対し、補助金を交付しています。保育園の通常開所時間に対し、30分から1時間の範囲内で延長保育を実施しています。平成24年度の利用実績は、年間児童登録数406人で、年間延べ児童数は1万640人です。

地域子育て支援拠点事業とは、地域の子育て支援のため未就学、未就園の子どもとその保護者に対し、園庭の開放や各種催しなどを開催し、親子の触れ合いや保護者間の交流、子育て関連の情報発信などで地域の子育て支援活動を行っている私立保育園6園に対し、補助金を交付しています。

平成24年度の利用延べ人数は、保護者4,743人、児童6,550人、放課後児童クラブ7,375人です。



問 市税は5億6,000万円を超える収入未済となっています。中でも市民税は2億円を超える収入未済となっていますが、その主な理由を伺います。

答 市民税の収入未済の主な理由としては、やはり納税義務の認識に係る部分と、納付資力にかかわる部分が相互に関係をしていると考えられます。市民税の収入未済額については、前年度に比べて約7%、1,600万円の改善が見られますが、平成24年度決算では2億81万3,101円という状況です。この収入未済額の中には、現在差し押さえ、あるいは取立訴訟といった

た換価に至っていない額も含まれています。

議案第75号

平成24年度銚田市水道事業会計収入支出決算認定について

問 水道会計について、鹿行広域水道から買う水の値段について伺います。また、鹿行広域水道の水の値段は、県内の状況から見ると非常に高い感じがしますが、どのような比較になりますか。さらに、銚田市における給水人口についてお尋ねします。

答 まず1点目の茨城県から購入している水道水については、基本料金と使用料金の2段階構成となっており、基本料金は、月額でm³1,500円、使用料金は、m³54円で

す。平成24年度の購入費は3区域合わせて1億9,660万円となっています。

2点目の他自治体との比較ですが、茨城県内は鹿行広域水道のほか、県南、県西、県中央の4地区に区分けされています。これらを比較すると、基本料金については、低いほうで1,290円、高いほうで2,420円です。使用料金については45円から65円となっています。

3点目の給水人口については、市全体で対前年比658人の増となり、水道普及率では21ポイント増の81.2%となっています。



主な討論

議案第4号

平成24年度鉾田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

○反対討論（高野衛）

介護保険特別会計は収入未済額が3,265万1,000円となるなど、保険料を払いたくても払えない状況が見受けられます。その中で平成24年度は介護保険料の引き上げが行われました。ま

た、滞納を理由とした介護サービスの利用に対してペナルティーがかけられており、これを改善することを強く求めるものであります。

以上の理由から、本案について反対をいたします。

○賛成討論（米川宗司）

介護保険制度につきましては、介護を人為的及び経済的に軽減するため、必要不可欠な社会保険制度であります。平成24年度決算では、介護サービスの給付はもとより、東日本大震災により被災された方々の保険料、利用料の減免など、適正な運営がなされております。

また、地域支援事業につき

ましても、地域包括支援センターを中心とした高齢者の相談や介護予防事業など、介護に必要な方々はもとより高齢者の方、できる限り要介護状態にならないよう元気で生き生きとした、安心して生活を送れるように発展、充実を求めらるものであります。

以上の理由から、本決算に賛成をいたします。

議案第6号

平成24年度鉾田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

○反対討論（石津武吉）

前年度も申し上げましたけれども、特に公共下水道は今後の住民生活にとつて非常に大事だと、さらに北浦の水が悪化しており、鉾田市としてもやむを得ないということを強く指摘しながらやってきました。今年の3月末に通水、供用が始まりましたが、その後の状況を見る限りにおいて加入は非常に少ないし、それから住民自身

が料金体系とかをもっと理解していくべきではなかったかと思いますが、そうした問題についての話し合いが不足していたという気がしております。特に町内においては、震災による液状化被害に対して、特別な対策がなされなかつたと感じております。そのようなことから、私は本決算について反対の立場を表明いたします。

○賛成討論（畠長弘）

近年の生活様式の多様化に伴い、家庭や事業所からの生活排水が水質の悪化を招く大きな要因となっております。公共下水道事業は水質浄化や環境保全さらには快適な生活を営む上で重要な施策であります。とりわけ市街地及びその周辺は人口が密集しており、大量の汚水が排出されることから必要不可欠な施設であります。本年4月には第1期地区の99ヘクタールが供用開始さ

れ、いまだ接続率は低いものの市民の水質改善への関心はとも高く、今後北浦や鉾田川の水質向上に大きく期待できるものであります。また、市街地及びその周辺整備を図ることは生活環境の向上と、公共用水域の水質保全の観点から、安心・安全なまちづくりに大きく寄与するものであります。今後事業区域の拡大とともに早期接続の向上に努め、適切な施設運営を期待して、本案に対し賛成するものであります。

平成 25 年第 2 回 鉾田市議会臨時会 討論一覧

議案第 1 号
平成 25 年度 鉾田市一般会計補正予算
(第 2 号)

反 対	石津 武吉	賛 成	米川 宗司
-----	-------	-----	-------

本会議及び常任委員会欠席者

第 2 回臨時会

7 月 26 日	本会議	江沼 久男 飯塚 幸右衛門
----------	-----	---------------

第 3 回定例会

9 月 6 日	本会議	飯塚 幸右衛門
9 月 10 日	本会議	江沼 久男 飯塚 幸右衛門
9 月 11 日	本会議	江沼 久男 飯塚 幸右衛門
9 月 13 日	本会議	飯塚 幸右衛門
9 月 17 日	総務企画常任委員会	飯塚 幸右衛門
9 月 19 日	厚生文教常任委員会	江沼 久男
9 月 24 日	本会議	飯塚 幸右衛門

平成 25 年第 3 回 鉾田市議会定例会 討論一覧

議案第 1 号
平成 24 年度 鉾田市一般会計歳入歳出決算認
定について

反 対	石津 武吉	賛 成	栗田 洋
-----	-------	-----	------

議案第 2 号
平成 24 年度 鉾田市国民健康保険特別会計歳
入歳出決算認定について

反 対	高野 衛	賛 成	倉川 陽好
-----	------	-----	-------

議案第 3 号
平成 24 年度 鉾田市後期高齢者医療特別会計
歳入歳出決算認定について

反 対	高野 衛	賛 成	入江 晃
-----	------	-----	------

議案第 4 号
平成 24 年度 鉾田市介護保険特別会計歳入歳
出決算認定について

反 対	高野 衛	賛 成	米川 宗司
-----	------	-----	-------

議案第 6 号
平成 24 年度 鉾田市公共下水道事業特別会計
歳入歳出決算認定について

反 対	石津 武吉	賛 成	島 長弘
-----	-------	-----	------

議案第 7 号
平成 24 年度 鉾田市旭区域水道事業会計収入
支出決算認定について

議案第 8 号
平成 24 年度 鉾田市鉾田区域水道事業会計収
入支出決算認定について

議案第 9 号
平成 24 年度 鉾田市大洋区域水道事業会計収
入支出決算認定について

反 対	石津 武吉	賛 成	友部 政徳
-----	-------	-----	-------

菅谷 達男 議員が 9 月 4 日付で議員を辞職しました。

各議員の賛否 (賛成反対が分かれた議案のみ掲載)

議 案 名	根 岸 真	小 沼 幸 義	出 沼 丈 夫	小 川 一 彦	水 上 美 智 子	入 江 晃	江 沼 久 男	小 沼 俊 秀	飯 塚 幸 右 衛 門	岩 間 勝 栄	島 長 弘	井 川 茂 樹	米 川 宗 司	菅 谷 達 男	友 部 政 徳	山 口 徳 徳	栗 田 洋	田 口 清 一	堀 田 正 衛	高 野 衛	石 津 武 吉	倉 川 陽 好	採 決 結 果
平成 25 年度 鉾田市一般会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
平成 24 年度 鉾田市一般会計歳入歳出 決算認定について	○	欠	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	議	○	○	○	●	●	○	認定
平成 24 年度 鉾田市国民健康保険特別 会計歳入歳出決算認定について	○	欠	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	議	○	○	○	●	●	○	認定
平成 24 年度 鉾田市後期高齢者医療特 別会計歳入歳出決算認定について	○	欠	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	議	○	○	○	●	●	○	認定
平成 24 年度 鉾田市介護保険特別会計 歳入歳出決算認定について	○	欠	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	議	○	○	○	●	●	○	認定
平成 24 年度 鉾田市公共下水道事業特 別会計歳入歳出決算認定について	○	欠	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	議	○	○	○	●	●	○	認定
平成 24 年度 鉾田市旭区域水道事業会 計収入支出決算認定について	○	欠	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	議	○	○	○	●	●	○	認定
平成 24 年度 鉾田市鉾田区域水道事業 会計収入支出決算認定について	○	欠	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	議	○	○	○	●	●	○	認定
平成 24 年度 鉾田市大洋区域水道事業 会計収入支出決算認定について	○	欠	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	議	○	○	○	●	●	○	認定

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 議：議長 欠：欠席



ここが聞きたい!! 一般質問

9人の議員が一般質問

議員名	質問事項
倉川 陽好	1. 戦没者慰霊祭について 2. 借地問題について 3. 職員視察研修について 4. 高齢者福祉と施設入所状況と対応について 5. 地籍調査について 6. 国の補助事業について
石津 武吉	1. 市長の三選出馬について 2. 警察の取り締まりに市駐車場が使われている件について 3. 大震災からの教訓について 4. 市の女性の平均寿命が県内最下位について
水上 美智子	1. 期日前投票率の向上について 2. 妊婦に優しい社会について 3. 小型家電リサイクル法の成立について 4. 熱中症対策について 5. 健康マイレージの取り組みについて 6. 緊急医療情報キットについて
畠 長弘	1. 学校教育環境整備について 2. 市有地の有効利用について
友部 政徳	1. 銚田海岸浸食防止について 2. 新市連絡道路について 3. 平均寿命について
出沼 丈夫	1. 成年後見人の選任について 2. 高齢者における乗り合いタクシーの設置について
根 寄 眞	1. 銚田市文化複合施設について 2. 銚田中央公民館について
高野 衛	1. 耐震診断について 2. 障害者雇用対策について 3. 高齢者福祉対策について 4. 子宮頸がん予防ワクチン接種について 5. 鹿島鉄道廃線後の橋の撤去について
入江 晃	1. 小学校跡地の利用について 2. 家庭用のゴミの不法投棄について 3. 難病対策について 4. 結婚推進対策について



職員視察研修

倉川 陽好 議員

問 全国の自治体で、交付金等の減額により自治体間の競争が激しさを増しているようです。自治体にとってブランドを立ち上げ、そして製品化して地元産品に付加価値をつけて販売するといった方法で、地域の住民の皆様所得を上げて、豊かになっていただいで地域を元気にすることも大事なことであります。銚田市でも、いち早くブランドアップ振興協議会を設立し、各種製品のブラン

ド化を図り、全国でPRに努めて成果を上げているようでありますが、その一方で児童の教育問題から高齢者の福祉の問題と、生活上のさまざまな課題があります。職員がそれらの課題に対応するためには、現場を見て、聞いて、体験することが大事だと思います。現在の銚田市では、視察研修費はないと言ってもいい状況です。そこで、市で毎年職員に公募して、選定された職員にチームで研修しても

らい、職員に活性化を与える制度を考えてはいかがか。
答 【総務部長】職員研修、視察については新たな政策や事業を実施する場合には、「百聞は一見にしかず」と言われるように、先進地の事例視察は効果的であると考えています。職員の資質向上のため、職員研修の充実には必要不可欠であると認識しています。これまで先進地視察や茨城県自治研修所、それから広域の事務組合の研修派遣などを行っ

てきましたが、今回の提案のように自己研さんや政策が企画立案をし、よいものについては職員が希望する先進地視察研修を実施するような職員提案型の研修制度についても検討していきたいと考えています。
提言 今この自治体でも、一番の財産は職員です。職員は市を変えていく起爆剤の一つでありますし、ぜひ進めていただきたいと思います。

ホームページで 一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

- ①銚田市のホームページへアクセスする。
アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>
- ②市ガイド内の「銚田市議会」をクリックする。
- ③会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、12月頃の予定です。
本会議の会議録(冊子)は、市立図書館で閲覧できます。



期日前投票率の向上

水上 美智子 議員

問 7月21日に行われた参議院選挙における期日前投票率の結果を伺います。
また、期日前投票の宣誓書を入場券の裏面に印刷して、あらかじめ自宅で氏名や住所を記入し、投票所に持参して期日前投票ができるようにしていただけないか伺います。

答 【総務部長】 今回の参議院選挙の期日前投票の投票率については、14.94%で、前回の参議院選挙より1.23ポイント向上しています。

また、入場券への宣誓書印刷については、入場券のスペースに宣誓書を書き込むと、かなり文字が小さくなり、高齢者の方にとっては逆に使いづらい様式になる可能性があります。ちなみに、期日前投票所の窓口で宣誓書を書いていただいても、1分かかるくらいで簡単に書けます。入場券への宣誓書印刷を実施している市町村もありますので、選挙管理委員会の中で検討していきたいと考えています。

再質問 投票所の独特の雰囲気の中で申請書を記入するのは心理的にも負担であるとの声を聞いております。投票率を上げるための一つの施策として準備には大変時間と手間もかかると思いますが、次の茨城県議会、または銚田市議会の選挙までに対応していただけないか伺います。

答 【総務部長】 投票率を上げるという点では、期日前投票を積極的に推進しているところで、先日の県知事選挙でも、銚田市は期日前投票での投票率は中間以上とかなり定着してきています。宣誓書については、他町村の事例も市で把握している部分がありますし、様式的にこういうものでも印刷が可能だという部分までは検討をしておりますが、間近な選挙で様式を変えらるとなると混乱を来し、新たなトラブルを起こす可能性もあるので、慎重に選挙管理委員会の中で検討していきたいと考えています。



大震災からの教訓

石津 武吉 議員

問 現在、銚田市において新防災計画が策定されようとしている中で、一昨年の3月の大震災の時点では市の防災に対する基本姿勢がなされておらず、初動態勢に問題があったと思っております。初動態勢において当初どのような問題点があったのかお尋ねします。

答 【総務部長】 職員の災害に対する備えが十分でなかったこと、災害対策本部の各部の役割が曖昧だったこと、意思決定が総務対策部に集中し、初動対応に混乱が起きたことは反省点であり、この課題を解決するため、改定中の地域防災計画では各対策部の事務分掌を明確にし、初動対応の強化、災害対策行動の確保、災害時の要援護者支援、迅速な災害対応の実施に関して強化をしています。

再質問 対策本部を立ち上げたが内部の意思疎通がうまくいかず実際は動き出せなかったということですが、その辺りの実態はどうだったのか伺います。

答 【総務部長】 対策本部を立ち上げましたが、最初に何をやるべきか定まっておらず、何を優先的に進めていくか混乱したことが一番大きかったと思います。

また、停電により通信手段が遮断され、通信の方法がなくなつたことも大きな問題だったので、自家発電や無線機のような多数の通信手段を確保しなくてはならないと考えています。

提言 震災からの意識の風化が始まっているので、心して職員の意識づけや訓練に取り組んでいただきたい。



新市連絡道路

友部 政徳 議員



学校教育環境整備

畠 長弘 議員

問 校庭敷地内への除草剤散布を禁止する通達があったとのことですが、それならばどのような方法で、誰が校庭を整備していくのかお聞きします。

答 【建設部長】 鉾田市内の学校における除草剤の散布については、これまでも校庭敷地内への除草剤の使用を控えていました。6月11日に、県の農林水産部長及び生活環境部長の連名で、住宅地等における農薬使用について「子供たちへの健康

問 被害が生じないよう、農薬を使用しない管理を心がける」という通知があり、市内の学校や園では、校庭等に除草剤の散布は控えるということを校長・園長会で再度確認しました。教育的見地からも、除草剤を散布することにより、自然でない植物の枯れ方を目にするなどの心理的な影響を子どもたちに与えることがないように、除草剤の使用を控えてきましたので、今後とも、そのように対応していきたいと考えています。

被害が生じないよう、農薬を使用しない管理を心がける」という通知があり、市内の学校や園では、校庭等に除草剤の散布は控えるということを校長・園長会で再度確認しました。教育的見地からも、除草剤を散布することにより、自然でない植物の枯れ方を目にするなどの心理的な影響を子どもたちに与えることがないように、除草剤の使用を控えてきましたので、今後とも、そのように対応していきたいと考えています。

市内の学校では、学校職員だけでなく、保護者や地域の方の協力を得て、従来どおり鎌や草刈り機による除草を実施し、安易に除草剤での対応をしないことを心がけています。

再質問 学力向上に力を入れるということを考慮すると、なかなか先生方が対応するのも難しい。かといって、子供たちではそういうものを使った経験がないため、危険度が増すことによるリスクを伴うため難しいです。

今年度に用地測量を行う予定ですが、

なお、鉾田病院前の交差点の渋滞解消に関しては、交差点改良を県に要望していきたいと考えています。

再質問 鉾田病院前の交差点では、右折車があると信号で2回か3回待たされます。徳宿方面から来る車は右折ラインがありますが、小高根方面から来る車は混んでいますので、ぜひ改良してほしいと思います。

今年度に用地測量を行う予定ですが、

い。では父兄はどうかとなるかと、職業も多様化しており、学校のほうに向くのが難しいという面も出てきます。除草作業というのは大変骨の折れる仕事でありまして、支援策がないまま年間を通して維持することは不可能だと思いますが、どういう考えなのか伺います。

答 【建設部長】 合併当時は鉾田病院前の交差点にながるのかどうか伺います。

答 【建設部長】 合併当時は1路線での法線が入っていましたが、現在は

大竹鉾田線までが新市連絡道路という扱いで、鉾田病院の脇に抜ける部分は市街地連絡道路という仮名称で進めており、まだ法線が確定したわけではありません。仮の概略設計は済んでいます。このことから法線が変更される可能性はあります。

問 新市連絡道路の進捗状況について伺います。

それから、鉾田病院前の交差点は徳宿方面からの流れはスムーズなのにに対し、小高根方面からは渋滞がひどいようです。将来新市連絡道路が交差点へつながることを考え、先行して改良工事を実施してはどうかと思いますが、いかがか。

答 【建設部長】 新市連絡道路については、現在全長2,620メートルを3

工区に分けて、安塚から二重区に盛り土工事を行うため、田んぼの中と水路の用地の中に地盤改良の工事を行い、間もなく二重作地内の生活道路である市道大洋0102号線を横断するためのボックス設置工事に着手する予定となっております。また、2工区におきましては、用地の不動態評価・補償調査に着手し、今年度用地買収に入る予定です。1工区については



銚田市文化複合施設

根 寄 眞 議員



成年後見人の選任

出 沼 丈 夫 議員

問 平成19年12月に銚田市文化複合施設基本構想中間報告及び提言がなされました。その中で、市民の文化複合施設建設の関心は決して高いものではない。行政が文化の施設を重点課題として位置づけるマスタープランを整備すべきとの提言がありました。このマスタープランについて整備したのか伺います。

再質問 市長の文化複合施設の建設に対して、市長の文化複合施設の建設に對

答 市長「我々の市において、文化振興などの方向性や目標を示した生涯学習推進計画を策定しています。しかし、文化振興に特化した文化振興計画ないし文化振興マスタープランは、現時点では策定していません。この点、文化複合施設の整備にあわせ、文化振興のための運営指針などが必要になると考えています。

用すれば、いろんな生きがいにもなってくると思っております。そういう面では、私はぜひつくっていききたいと思っております。当初は、今の基本設計よりもっと小さい額でございました。しかしながら、まだ市民の皆さんに一切、提示をしてきておりませんので、これを皆さんに説明をして、そういう中で皆さんのご理解をいただかなければいけないというふうにしてあります。

問 銚田市には、成年後見人を利用している人が数名いると聞いています。この制度は、非常に重大な責任を担うものであるにもかかわらず、新聞での報道などを見ると、いろいろな事件が起きています。そこで、後見人制度について伺います。

答 点目の資格についてですが、特に資格は必要ありません。原則的には親族であるかを問わず、誰でもなれます。2点目の他県からの選任については、他県からも選任されます。3点目の報酬については、決められた額はありません。後見人申し立て時

再質問 「他県から」というと、書類審査か家庭裁判所からの選任を受けただけで、被後見人に家庭裁判所において決定されます。目安としては、通常の後見事務を行った場合は月額2万円程度です。4点目の任期についてですが、後見人は原則として、被後見人判断能力を取り戻したときや亡くなるまで後見人を担うこととなりますので、特に定まった任期はありません。

答 「健康福祉部長」その方が後見人になるのが一番だと思います。最終的には家庭裁判所が成年後見人を選任いたします。本人については何も知らない人が重大な財産を管理するということになりかねない。やはり被後見人の生い立ちとか、家族構成などを把握した人に後見人になってもらったほうがいいのではと思いますが、いかがか。



小学校跡地の利用

入江 晃 議員

問 平成28年度から銚田北中学区の統合により新しい小学校がスタートし、5つの小学校が廃校になります。跡地の利用計画はどのようになっているのか。また、市民からの要望や、意見はあるのか伺います。

答 【教育部長】現在のところ、決定した計画はありませんが、銚田市公立学校施設再編計画基本構想では、防災拠点としての跡地活用、学校施設を継続して地域住民のための活動の

場とするなどが検討項目として上げられていることと、銚田北中学校区小学校統合推進委員会専門部会の建設部会において、学校用地の利用方法に関する検討を行うこととなっています。

市では、原則として学校用地が借地の場合、地権者へ返還することを考えています。また、防災倉庫や、適応指導教室への活用など、既存施設の機能移転なども検討したいと考えており、学区の方々の要望、意見等

を聞いた上で、それらを勘案しながら決めていきたいと思えます。

市民からの要望については、校舎等を利用したい旨や校舎の一部を借用したいなどの要望も伺っています。

再質問 防災拠点という所というのは非常に重要だと思えます。跡地は地主に返すということですが、借地はどのくらいあるのですか。また、市民からの要望があれば、それにしっかりと

答 【教育部長】借地については、北中学区の小学校では1校あり、面積は1,446平方メートルです。全体でいいますと、小学校6カ所、面積として約2万8,000平方メートルを借地として借りている状況です。

跡地利用計画については、要望、意見を聞いて検討していきたいと思っています。



障害者雇用対策

高野 衛 議員

問 障がい者の自立、社会参加のために、雇用や就業は重要な柱です。今年4月から障害者法定雇用率が引き上げられました。銚田市の雇用達成の状況についてお尋ねします。

答 【総務部長】銚田市においては、本年4月1日付で障がい者枠の正職員を採用することで年度当初に障害者法定雇用率を達成する予定でしたが、昨年度採用した臨時職員の退職により、率の換算で15名分不足することになったため、新たに6月1日に障がい者枠で2名の臨時職員を採用し、現在は障害者法定雇用率を達成している状況です。また、本年度も障がい者枠での正規職員の募集を行いました。募集はありませんでした。

【健康福祉部長】 障がいのある方については、就労移

行支援等の訓練給付の提供をしています。一般の就労に結びつけるには、福祉部門のみではなく関係機関との連携が必須となるので、ハローワーク等の労働機関等と協力しながら、雇用促進に努めていきます。

再質問 今は障がい者の方の就職も非常に厳しい。さらに視覚障がい者は職種が限定されますから、きちんと資格を持つていても、幾ら努力をしても仕事

が見つからないというのが現状です。ハローワークに照会するのも一つの支援だとは思いますが、それだけでは現状が改善されないということなので、例えば銚田市として雇用するなど、雇用を積極的に進める策はとれないかお尋ねします。

答 【総務部長】市の雇用な事務が業務の内容になつておりますので、特定の専門職を採用する部署というのが難しいのが現状です。

主な議会の動静

8月

20日 国土交通省要望活動
30日 議会運営委員会

9月

6～24日 平成 25 年第3回定例会
6日 鉾田市災害復旧復興対策特別委員会
11日 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会
11日 原子力施設の安全に関する調査特別委員会
13日 議会運営委員会
17日 総務企画常任委員会
18日 経済建設常任委員会
19日 厚生文教常任委員会
24日 議会運営委員会
24日 議会広報編集委員会
30日 主要地方道大洗友部線改良促進期成同盟会県要望

10月

1～2日 議会広報編集委員会行政視察（北海道芽室町）
11日 東京都町田市議会来庁
25日 県市議会議長会正副会長会・理事会・定例会
28～30日 総務企画常任委員会行政視察（鳥取県伯耆町）

新議員の紹介



小沼 勝 議員

10月20日に告示された市議会議員補欠選挙において、小沼勝議員（52歳）が無投票により、当選されました。

住所：箕輪2845番地2

職業：農業

任期：平成25年10月27日

～平成27年7月3日

山口議長、鬼沢市長と国へ要望活動

8月20日（火）、東関東自動車道水戸線潮来～鉾田間建設促進期成同盟会（鹿行5市）の市長、議長、担当部で国土交通省へ早期完成の要望活動に参加しました。また、県選出国会議員である額賀福志郎議員への地元要望活動も行いました。

市長も鹿島灘海岸、鉾田地区の堤防整備を要望してまいりました。

議長も議会からの要望等を強くお願いしてきました。住民要望を国や県に働きかけることも議会の大事な職責であります。

（取材：議会広報編集委員会委員長

倉川陽好）



国土交通省要望活動

委員会活動報告

鉾田市災害復旧復興対策特別委員会報告

鉾田市災害復旧復興対策特別委員会委員長 倉川 陽好

本委員会を平成23年7月11日の初議会で設置し、平成25年9月6日の委員会まで二年間にわたり委員会活動を行って参りました。

市内の公共施設やインフラ等については既に復旧・復興が完了し、震災の傷跡は癒えつつあります。また、地区区長さん等への意見の集約等でもほぼ復旧・復興が完了したとのアンケート結果を受けました。

市内での大きな被災箇所鹿行大橋も開通一周年を経過し、崩落した旧鹿行大橋の解体工事もほぼ完了のようであります。

市の予算等においても繰越等での予算措置はされておりますが、この定例会での市庁舎の耐震工事が提案されるなど、復興に関する予算も確実に執行されていきます。

本委員会においては、これまでに防災講演会の開催、災害時の議会の在り方等もお示しすることが出来ました。また、海岸地区の堤防問題等についても国や県への要望活動等をして参りました。

これからは市の防災計画等と共に執行部と一体になって鉾田市の新たな復興に向けて邁進して参ります。

本委員会の所期の目的は達成されましたので、本報告をもって鉾田市災害復旧復興対策特別委員会の最終報告といたします。

9月11日（水）に百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会と原子力施設の安全に関する調査特別委員会がそれぞれ開催され、次の方々が新たに正副委員長に就任されました。

百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会委員長 小川 一彦 議員
百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会副委員長 堀田 正衛 議員
原子力施設の安全に関する調査特別委員会委員長 井川 茂樹 議員

【議会広報編集委員会行政視察】

10月1日（火）に、通年議会制の実施に伴う議会だよりの通年発行など、先進的な取り組みを行う北海道芽室町議会において、議会広報編集に係る行政視察を行いました。

議会広報は、議会報告会や町民及び団体との意見交換会など、多くの広報広聴事業と連動するとともに、ホームページのほか、フェイスブックなどを活用して情報をリアルタイムで伝えることが肝要であるとのことでした。

本市においても、参考になる点については、今後の委員会で検討し積極的に取り組んでいきたいと思っております。



北海道芽室町議会

請願審査報告

請願第25・1号 国益に反するTPPに参加しないことを求める請願

審査結果・採択

9月6日の本会議において経済建設常任委員会に付託された本請願については、9月18日委員会を開催し、請願紹介議員の出席を求め審査を行いました。

政府はTPPの交渉参加を決め、関係11カ国の政府から承認を得たとして、現在TPPの枠組み交渉のテーブルにつきました。交渉の中で関税の聖域や国民皆保険制度、食の安全、国の主権などの国益を守るとしていますが、TPP交渉に後から参加する国は、先に参加した国の合意を拒否できないことが明らかにされています。また、交渉のなかで出された文書は交渉後4年間は公表ができませんとされ、合意の過程での情報開示が無く国民不在の中で交渉が行われています。

採決の結果、全会一致で採択することに決定しました。

請願第25・2号 教育予算の拡充を求める請願

審査結果・採択

9月6日の本会議において厚生文教常任委員会に付託された本請願については、9月19日委員会を開催し、請願紹介議員の出席を求め審査を行いました。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要であります。子どもたちの教育環境をさらに充実させるためには、「少人数学級の推進」、「教育の機会均等と水準の維持向上」、「震災からの教育復興」を推し進めていかななくてはならず、そのために国の教育予算の拡充を求める本請願趣旨は妥当であるとの意見が一致しました。

採決の結果、全会一致で採択することに決定しました。

9月24日（火）の本会議においても、委員長報告と併せて全会一致により本請願については採択となりました。

その後、同日付で経済建設常任委員会及び厚生文教常任委員会より議案第4号「国益に反するTPPに参加しないことを求める意見書の提出について」、議案第5号「教育予算の拡充を求める意見書の提出について」が議案として提出され、本会議において、全会一致により原案可決となりましたので、関係機関へ地方自治法第99条の規定による意見書を下記のとおり提出しました。

国益に反するTPPに参加しないことを求める意見書

政府はTPP（環太平洋パートナーシップ）の交渉参加を決め、関係11カ国の政府から承認を得たとしている。安倍首相は、関税の聖域や国民皆保険制度、食の安全、国の主権などの国益を守るとしているが、TPPでこれらが守られる保障はない。

2011年に発表された「TPPの輪郭」では、TPPの特徴として「関税と非関税障壁の撤廃」があげられている。TPPによって危険にさらされるのは農業や食料だけではない。生活のあらゆる分野で積み上げられてきたルールが企業の利益のために緩和される恐れがある。

たとえば、株式会社による病院経営や混合診療の全面解禁、薬価制度の変更などによって国民皆保険制度が根底から揺るがされる危険性がある。ISD条項は投資家が国際投資紛争解決センターに国を提訴する権利を認めるものだが、投資家側・アメリカ側に有利な裁定が多く、国民の権利や環境などを守る法律よりも投資家の利益を優先しているとしてアメリカ国内でも問題になっている。

TPP交渉に後から参加する国は、先に参加した国の合意を拒否できないことが明らかにされている。同時に、交渉のなかで出された文書を交渉終了後4年間は公表しないことが合意されており、これまでどのような合意があるのかを日本政府は事前に知ることができない。交渉参加後も国会議員を含めて国民は交渉のなかで出された文書を読むことができない。このような交渉のあり方自体が国家主権と国民主権をないがしろにするTPPの本質を表しているのではないかと深く憂慮する。

よって、下記のとおり対応されるよう強く望むものである。

記

国益に反するTPPに参加しないこと。

平成25年9月24日

茨城県鉾田市議会

教育予算の拡充を求める意見書

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤作りにとってきわめて重要なことである。特に学級規模の少人数化は保護者などの意見募集でも小学1・2年生のみならず、各学年に拡充すべきとの意見が大多数である。地方は独自の工夫で学級規模の少人数化をすすめてきているが、地方交付税削減の影響や厳しい地方財政の状況などから、自治体が独自財源で学級の少人数化を拡充することは困難な状況になっている。

また、東日本大震災等において、学校施設の被害や子どもたちの心のケアなど教育の早期復興のための予算措置、早期の学校施設の復旧など政府として人的・物的な援助や財政的な支援に継続的に取り組むべきである。

したがって、教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させるため、次の事項を実現されるよう、強く要望する。

記

1. きめ細かな教育の実現のために少人数学級を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、その根幹となる義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
3. 東日本大震災等における教育復興のための予算措置を継続して行うこと。

平成25年9月24日

茨城県鉾田市議会

傍聴者の声



徳宿本郷区長
大津 博史

本年度第三回鉾田市議会定例会一般質問は二日間行われ、九人の議員さんが質問されました。公共施設・生活・医療・福祉・震災・教育等多方面から市政に対する意見、地域で抱えている課題を質問され、それらの答弁に対し、追加質問するなど市民の健康・安全・安心を守るため、真剣に取り組んでいる姿を拝見することができました。今後も議会と行政とで活発な質疑応答を行い、その結果を市民の皆様にも一日も早く還元できるよう期待しています。

編集後記

2020年の開催が決まった東京五輪・パラリンピック大変おめでとうございます。ここに至るまでの関係者の方々のご努力に改めて敬意を表したいと思います。

7年後の大会成功に向けて、これからスポーツを通しての人づくりが徐々に広まっていくのではないかと思います。

たくさんの方々や夢と希望を持ち、東京五輪という目標に向かって動き出しました。皆様と大成功を見届けていきたいと思えます。

これからも議会だよりが市民の皆様に分かりやすく読んでもいただけるよう紙面づくりに取り組んでまいります。皆様の掲載写真も募集しております。よろしくお願ひします。

(水上美智子 副委員長 記)

- 委員長 倉川 陽好
- 副委員長 水上美智子
- 委員 出沼 丈夫
- 入江 晃
- 小沼 俊秀
- 高野 衛

12月定例会日程(予定)のお知らせ

月日	会議内容
12月6日(金)	本会議 開会
12月10日(火)	一般質問
12月11日(水)	一般質問
12月16日(月)	委員会
12月17日(火)	委員会
12月18日(水)	委員会
12月20日(金)	本会議 閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成25年第3回(9月)定例会の延傍聴者数54名

掲載写真募集!!

あなたの写真を
議会だよりに掲載しませんか?
詳しくは、議会事務局に
お問い合わせ下さい。
尚、編集の都合上、写真は
縦長にてお願い致します。

